

セーフコミュニティ年間活動報告書

本レポートは、毎年、認証された「月」の末日までに提出してください。

コミュニティ名	横浜市栄区
認証年月日	2013年 10月 5日
報告提出日	2018年 10月31日

〔報告書担当者〕 ※本報告書に関する問い合わせ等に対応できる方

よみがな 名前	あまづつみ たかし 雨堤 崇
所属（肩書き）	横浜市栄区役所総務部区政推進課長
電話番号	045-894-8161
E-mailアドレス	sa-kikaku@city.yokohama.jp

指標 1 分野横断的な協働の仕組み

1-1. 過去1年に、セーフコミュニティ推進協議会等のSCの方向性を決定する組織および対策委員会等の重点課題に対する取組を推進する組織において大きな変更がありましたか？

はい いいえ

※「はい」と答えた場合は、変更点について詳細を記載してください。

例) これまで主な協働関係にあった方（組織）で担当でなくなった方や関係を解消した組織、あるいは新たに推進組織に加わった方（組織）など

・傷害サーベイランス分科会の委員追加について

データ収集や分析の精度向上のため、データを実際に取り扱う委員（横浜市健康福祉局、栄警察署、栄消防署、区福祉保健センター）を追加し再結成した。

1-2. 推進組織メンバーリストを添付してください・・・・・・・・・・ [添付1]

リストには下記の項目を設定してください。

	所 属	肩書き	備考
			推進協議会長

1-3. 推進組織（SC推進協議会）は、この1年間で何回開催しましたか？

①会議名・開催日・議題について下記に示してください

会議名	開催日	主な議題	備考
栄区セーフ コミュニティ 推進協議 会	2017年 4月27日	1 セーフコミュニティ事前指導について 2 傷害サーベイランス分科会の体制変更について 3 プロモーションについて 4 セーフコミュニティアンケートの集計結果について 5 2016年度の栄区のセーフコミュニティ活動について 6 その他	

②各会議の「次第」「出席者リスト」「議事録」を添付してください・・・・・・〔添付2〕

1-4. 対策委員会委員のリストを添付してください。・・・・・・〔添付3〕

リストには下記の項目を設定してください。

対策委員会名	氏名	所属	備考
			会長
			副会長

※ 対象者やプログラムの数に応じて、上記の表をコピーして活用してください

1-5. 過去1年間で何回対策委員会を開催しましたか？会議名・開催日・議題について示してください。

①会議名・開催日・議題について下記に示してください

対策委員会名	開催日	主な議題	備考
こども安全対策	2017年7月25日	こども安全対策分科会の取組について 他	
	2018年2月27日	事前指導報告、再認証までのスケジュール 他	
スポーツ安全対策	2017年6月22日	平成29年度の分科会企画講習会について 他	
	2017年10月26日	広報よこはま栄区版2月号への掲載内容案について 他	
	2018年2月22日	分科会だよりの発行について 他	
交通安全対策	2017年4月18日	自転車マナーアップ強化月間キャンペーンについて 他	
	2017年9月6日	秋の交通安全運動キャンペーンについて 他	
	2017年11月17日	年末の交通事故防止街頭キャンペーンについて 他	
	2018年2月2日	春の全国交通安全運動に伴うキャンペーンについて 他	

児童虐待予防対策	2017年5月31日 2017年7月20日 2017年9月12日 2017年11月24日 2018年1月18日 2018年3月20日	さかえっ子の笑顔ひろげ隊活動紹介チラシの見直しについて 他 啓発活動（今後の予定）について 他 啓発活動（今後の予定）について 他 区民まつりについて 他 西本郷中学校授業について 他 西本郷中学校（振り返り）授業について 他	
高齢者安全対策	2017年7月4日 2017年7月18日 2017年9月22日 2018年1月18日 2018年3月26日	当分科会のこれまでの取組の経緯等 他 2017年度高齢者安全対策分科会の取組について 他 事前指導の報告 他 今年度取組の振り返り 他 再認証について	
災害安全対策	2017年5月16日 2017年10月13日 2018年1月24日	地域防災拠点運営委員会連絡協議会への提言について 他 事前指導を受けて 他 再認証に向けての資料確認について 他	
自殺予防対策	2017年9月10日 2018年3月12日	2017年度自殺予防対策の取組について 他 再認証について 他	
防犯対策	2017年8月7日 2018年1月25日	振り込め詐欺に関するアンケートの実施について 他 再認証に向けた今後のスケジュールについて 他	
傷害サーベイランス	2017年7月21日 2018年1月15日	実務チームの進め方について 他 サーベイランス分科会の今後の進め方について 他	

②各会議の「次第」「出席者リスト」「議事録」を添付してください・・・・・・〔添付4〕

1-6. 過去1年間の財政マネジメントにおいて変化がありましたか？（資金調達方法など）

はい いいえ

※「はい」の場合、詳細について記載してください。

1-7. 次の1年間の財政計画について述べてください。

・セーフコミュニティ事業 10,060千円（30年度予算額）
 SCの取組の推進：7,000千円、プロモーション：1,850千円 再認証式典：1,210千円

1-8. 過去1年間で（対策委員会等の事務局ではなく、SC活動全体を担う）事務局機能において変更がありましたか？（事務局スタッフの変更や規模の変更など）

はい いいえ

※「はい」の場合、詳細について記載してください。

・機構改革にともなう事務局機能の所管変更

機構改革により、地域振興課から移管した地域力推進担当がセーフコミュニティ事務局機能を担うこととする。

指標2 プログラムの包括性・持続性

2-1. 過去1年間で、全ての住民（全年齢・両性別）あらゆる環境や状況をカバーするための取組において変更がありましたか？（報告書に記載した取組において変更や追加等がありましたか）

はい いいえ

※「はい」と答えた場合、それは下記のマトリックスのどの領域ですか？

		(0～14歳)	青年 (15～24歳)	成人 (25～64歳)	高齢者 (65歳～)
不慮の要因	家庭の安全	例) ①〇〇プログラム			
	の安全				
	交通安全				
暴力 (DV, 虐待含)					

変更した内容について説明してください。

2-2. 過去1年間で重点的な領域・課題（項目）・対策委員会等において変更がありましたか？

はい いいえ

※「はい」の場合、詳細について記載してください。

例) 重点項目、政策、政治、個人、資金などにおける変化及びそれによってどのように協働や継続性、成果などに成果があったのか、など

2-3. その他、コミュニティの特性を生かした取組について、その進展について記載してください。

例) モデル地区の取組など

--

指標3 ハイリスクグループおよび環境に対する取組

3-1. 過去1年間で、ハイリスクの集団・環境・状況に変更等がありましたか？

はい いいえ

※「はい」の場合、具体的にその詳細を記載してください。

--

3-2. 過去1年間において、各ハイリスクグループや環境に対してどのような取組を展開しましたか？

その内容と取り組みの成果について記載してください。

※ 対象者やプログラムの数に応じて、下記の表をコピーして活用してください

	取組内容	成果
	<div style="border: 1px solid black; background-color: #d9e1f2; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> 別紙 指標3・4のとおり </div>	

指標4 根拠に基づいた取組

4-1. 対策委員会の取組等根拠に基づいた取組の推進状況について記載してください

※対策委員会やプログラムの数に応じて、下記の表をコピーして活用してください

〔対策委員会名： 〕

課題1			過去1年の実績		
	対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で）				
プログラム1	①	実施者・協働者			
	②	対象			
	③	実施内容			
	④	別紙 指標3・4のとおり			
プログラム2	①				
	②				
	③				
プログラム3	④	過去一年間の改善点			
	①	実施者・協働者			
	②	対象			
	③	実施内容			
	④	過去一年間の改善点			

4-2. 過去1年間で対策委員会を新たに設置したり取組みを開始した場合、その根拠を示してください。

--

4-3. 過去1年間の取組みのなかで最も成功した事例を少なくとも3つあげてください。

例) その取り組みによってパートナーシップや他の組織との関係が強化された、財源をより確保できた、あるいは得られたアウトカム(成果)など

《こども安全対策分科会》

KYTについて、子どもたちが放課後を過ごす施設において実施したことにより、低学年を中心により多くの子どもたちがKYTを体験することができた。

《スポーツ安全対策分科会》

けが予防の観点を取り入れたウォーキングの講習会を実施し、分科会構成団体及び一般参加者にけが予防とウォーキングの関係性や、けが予防に効果的な歩き方について実践形式で周知することができた。

《交通安全対策分科会》

- ・子どもの交通事故に関する取組として、自転車ヘルメット着用の啓発、アンケートの実施により、交通安全意識の向上に努めた。
- ・高齢者に対しては、免許返納に関する啓発や反射材の配布など、高齢者向け交通安全対策を実施した。

《児童虐待予防対策分科会》

栄区児童虐待防止連絡会、地区別児童虐待防止連絡会の開催

児童相談所、学校、医療機関、警察等の児童虐待の支援に携わる関係機関の代表者により構成された「栄区児童虐待防止連絡会」を年1回開催し、関係機関同士の連携強化及び虐待の早期発見と予防のための各機関の役割について確認することができた。また「地区別虐待防止連絡会」を7地区全てで開催することで、地区単位で虐待予防のための対策を協議することができた。

《高齢者安全対策分科会》

高齢者が日常的に行うことができる転倒予防体操について、昨年度は、さらに身近な地域で取組が進むように支援者向けの講習会を実施した。支援者が講習会を通して健康運動指導士による直接指導を受けるとともに、支援者向けの手引きを作成したことにより、支援者の育成を図り、地域へ転倒予防体操が広がる仕組みづくりに着手した。

《災害安全対策分科会》

地域防災拠点運営訓練において、参加者数増加の為の啓発物品作成、配布を行った結果、地域住

民・その他の方の参加者数が増加した。また、さまざまな機会を通じて啓発を行った結果、より身近な避難所である地域避難所の選定数も着実に増加した。

《自殺予防対策分科会》

- ・啓発活動において、実施場所を拡大（港南台駅）し、区民が利用する3駅で行うことができた。
- ・自殺に関する正しい知識を広く区民へ啓発するため、うつを知ることをテーマとした区民向け演会を開催した。
- ・保健活動推進員を対象にハートフルサポーター養成研修を実施した。
- ・ハイリスク者支援検討部会での検討を踏まえ、自殺リスク者向けの支援ツール（カード、リーフレット、パンフレット）を作成し、医療機関へ配布協力を依頼した。

《防犯対策分科会》

区内の地域ケアプラザ・老人福祉センター翠風荘で、高齢者を対象にアンケートを実施し、振り込み詐欺の種類（オレオレ詐欺、キャッシュカード交付詐欺等）の認知度や、振り込み詐欺と思われる電話を受けたことがあるかなど、貴重なデータを入手することができた。

また、家庭で行っている振り込み対策として、留守番電話や家族内で合言葉を決めることが効果的だと知っている人がほとんどだったが、対策を実施しているのは約半数という結果だった。今後活かせる貴重なデータを入手することができた。

指標5 外傷サーベイランス

5-1. 報告書で示した計画通りに外傷データの分析を行いましたか？

はい いいえ

※「はい」の場合、そのデータの入手先、分析の方法・内容、分析結果の活用方法を記載してください。

- ・救急搬送データ（横浜市消防局）
【こども安全対策分科会、スポーツ安全対策分科会、交通安全対策分科会、高齢者安全対策分科会、自殺予防対策分科会】
 - ・交通事故統計データ（栄警察署）
【交通安全対策分科会】
 - ・人口動態調査（厚生労働省）
【高齢者安全対策分科会、自殺予防対策分科会】
 - ・災害共済給付オンライン請求システムの学校安全情報（独立行政法人日本スポーツ振興センター）
【こども安全対策分科会、スポーツ安全対策分科会、交通安全対策分科会】
 - ・児童虐待対応件数（横浜市こども青少年局）
【児童虐待予防対策分科会】
 - ・介護保険認定データ（横浜市健康福祉局）
【高齢者安全対策分科会】
 - ・栄区区民意識調査（栄区）
【スポーツ安全対策分科会、災害安全対策分科会、自殺予防対策分科会、防犯対策分科会】
 - ・学校アンケート（栄区）
【こども安全対策分科会、スポーツ安全対策分科会、交通安全対策分科会】
- それぞれ、各分科会の事務局分析、傷害サーベイランス分科会での分析に活用した。

5-2. 来年に向けて、外傷データの分析における課題や改善点すべきはありますか？

はい いいえ

※「はい」の場合、その詳細について具体的に記載してください。

今後の課題

- ・分析に必要な外傷データについて、横浜市全体については把握できているものでも、栄区独自では把握できていないものがある。調査方法や規模を含め、継続的なデータ収集方法について改善する必要がある。
- ・より効果的な取組の実施につなげるため、詳細かつ専門的なデータ分析を行う必要がある。
- ・ヒヤリハットなど救急搬送データ等からは把握が難しい外傷について、データを収集する仕組みを検討する。

指標7 SCネットワーク（経験や知識の共有）

7-1. 過去1年間、次のネットワーク等に参加・貢献しましたか？

- a) 国際的なSCネットワークへの参加・貢献 → はい いいえ
- b) 国内のSCネットワークへの参加・貢献 → はい いいえ
- c) アジア地域のSCに関する行事等・貢献 → はい いいえ

※「はい」と答えた場合、その内容について概要を記載してください。

b)国内ネットワーク（視察受け入れ等も含む）

2017年5月 箕輪町再認証式典 出席

7月 日本セーフコミュニティ推進機構研修会 出席

全国セーフコミュニティ推進自治体ネットワーク会議 出席

10月 松原市事前指導 視察

久留米市事前指導 視察

11月 郡山市現地審査 視察

豊島区現地審査 視察

亀岡市事前指導 視察

2018年1月 さいたま市事前指導 視察

2月 豊島区認証式典 出席

郡山市認証式典 出席

全国セーフコミュニティ推進自治体ネットワーク会議 出席

7-2. 過去1年間、住民に対して行ったフィードバックについて記載してください

例) 取組の進捗状況、成果等に関する報告など

《認証取得に関連した取組》

- ・セーフコミュニティの認証を取得した10月を「セーフコミュニティ月間」と定め、広報よこはま栄区版10月号で特集し、セーフコミュニティの取組や認証都市を紹介。また、図書館でセーフコミュニティパネル展を実施。
- ・毎月の広報「よこはま」へのコラムを掲載、タウン紙（全戸配布）への記事掲載
- ・JR大船駅改札口への大型ポスター掲示
- ・ケーブルテレビでの映像を通じた情報発信（「栄区なうTV」）

《研修・説明等の取組》

- ・分科会委員や関係者向けに改めて研修を実施し、より主体的な取組へとつなげるための研修を実施。
- ・地域の連合町内会長が集まる区連会等の会議や、新任自治会町内会研修などの各種研修において、セーフコミュニティの活動について説明・情報提供。
- ・区主催の官公署や企業が集まる会議で、セーフコミュニティの活動について情報提供。
- ・セーフコミュニティ活動の認知度、関心度を向上させるため地区の会合等に出向き、地区センターや区民活動支援協会などで出前講座を実施

《区民利用施設と連携した取組》

- ・区民の方にとってより身近な施設の管理者向けにセーフコミュニティの取組を説明し、理解を深めていただくことで、施設ごとの自主的なPRの取組がなされ、区内全域への周知へつながった。
(懸垂幕・横断幕の掲示、夏休み工作教室、図書貸出コーナーにおけるSCオリジナルしおり配布、自主企画講座内でのセーフコミュニティのPR、施設リレーパネル展)

《各種刊行物やチラシ等への取組掲載》

- ・SAKAE早わかりノート（統計資料）
- ・区民生活マップ
- ・選挙啓発ちらし裏面

8. その他

8-1. この1年間でもっとも積極的に取組んだ活動は何ですか。取組みの経緯・経過を含めて説明してください。

《再認証に向けた事前指導実施、審査員講評を踏まえた資料や取組の見直し》

9月に事前指導を実施した。事前指導後は、審査員からのアドバイスを踏まえて、資料の表現方法や今後の取組内容について見直しを行った。傷害サーベイランス分科会においても、データの分析方法等についてより具体的で詳細なアドバイスができるように分科会ごとの担当制とした。

《プロモーション活動》

再認証に向けてセーフコミュニティの認知度を高め、参加の輪をさらに広げるために、あらゆる場面でプロモーション活動を行った。

8-2. 最後に、SC活動およびSCネットワークについて自由にお書きください。

セーフコミュニティの仕組みを取り入れることにより、栄区で行われている自治会・町内会を中心とした活発な地域活動を、関係機関や行政と一体感を持って進めることができている。また、今年度は事前指導において、審査員や全国の認証自治体からアドバイス等をもらうことにより、更なる取組改善の意欲へつながった。

添付資料

次の資料が添付されていることを確認したうえで提出してください。

※ 添付したものは「□」を塗りつぶしてください。

■添付1：推進協議会メンバーのリスト

■添付2：推進協議会の「次第」「出席者リスト」「議事録」

■添付3：対策委員会メンバーのリスト

■添付4：各対策委員会の「次第」「出席者リスト」「議事録」

□添付5：アセスメントに関する資料

□添付6：市民へのフィードバックに関する資料

■資料（別紙）：指標3・4 対策委員会の取組について等

■資料（別紙）：指標6 対策委員会による取組のアセスメントについて

本レポートは、「ワードファイル」で、認証月の末日までに 支援センターに提出してください。
添付書類については、どの項目に対する添付資料かわかるようにしてご提出ください。